

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 経企-12 建築等紛争調整事業 <input type="checkbox"/> 支援部門									
主管課	市民相談課	関連課								
分野名	市街地整備									
目標 (目標値)	紛争調整において円満な解決を図る									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人						
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数	58人	120人	108人						
運営資源状況	決算値(千円)	1,670	1,797	1,784						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	1,670	1,797	1,784						
	人員配置数	1.0人	0.7人	1.0人						
	人件費(千円)	7,628	5,546	8,533						
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	9,298	7,343	10,317						
	市民1人当りの経費(円)	52	41	58						
	対象者1人当りの経費(円)	160,306	61,192	95,528						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	厚木市				
	根拠	条例	条例	条例	条例	条例				
	対象	中高層	中高層	戸建住宅を除く 開発行為	中高層	特定開発事業				
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						
建築等紛争調整事業	1,670	建築等紛争調整事業	1,880	今後の方向性	B	理由・手法	住民・事業者の当事者間で生じる紛争等を予防・調整するもので、行政が関われない部分を補完する機能を果たしているため。			
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	建築主と近隣住民が話し合いを重ねることが建築紛争の予防につながるが、話し合いを重ねる前からあつせん相談がある。条例の趣旨に理解を頂くことに労力を要する。携帯電話等中継基地局の設置等に関する条例に基づく届出等の申請数の増加に伴い、住民からの問い合わせ等も増加し、条例の趣旨、手続きなどの説明、対応に時間を要する。												
課題解決のための取組	まずは当事者間での話し合いを行うこと、条例の趣旨を粘り強く説明している。								取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決			
未解決の課題	建築等に対する近隣住民や周辺住民からの要望等は複雑多様化しているため、調整に多くの時間を要することになる。住民からの問い合わせ等も増加し、条例の趣旨、手続きなどの説明、対応に時間を要する。												
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	戸建におけるプライバシーの問題や、マンションや商業施設の建設などに伴う日照の問題など多種多様な相談がある。その解決に向け、専門の相談員が行政が関われない部分を補完する機能を果たし、よりよい解決に努めている。							➡	B	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ※□事業完了			

評価者名

市民相談課長

佐藤 雅也

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
建築等紛争調整事業	建築等紛争相談業務として、近隣での建築に係る紛争の解決に資するため、相談員が「相談」「あっせん」による紛争の調整を行った。13件のべ58回の相談を受けた。建築等紛争調整調停委員会を開催し、相談内容等の報告を行った。他				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		999	建築等紛争相談員報酬	1,590	1,590	○	○	○	○
		999	建築等紛争調停委員会委員報酬	258	70	○	○	○	○
999	建築等紛争相談員現地検分費用弁償	6	0	○	○	○	○		
999	消耗品費	10	10	○	○	○	○		
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								